

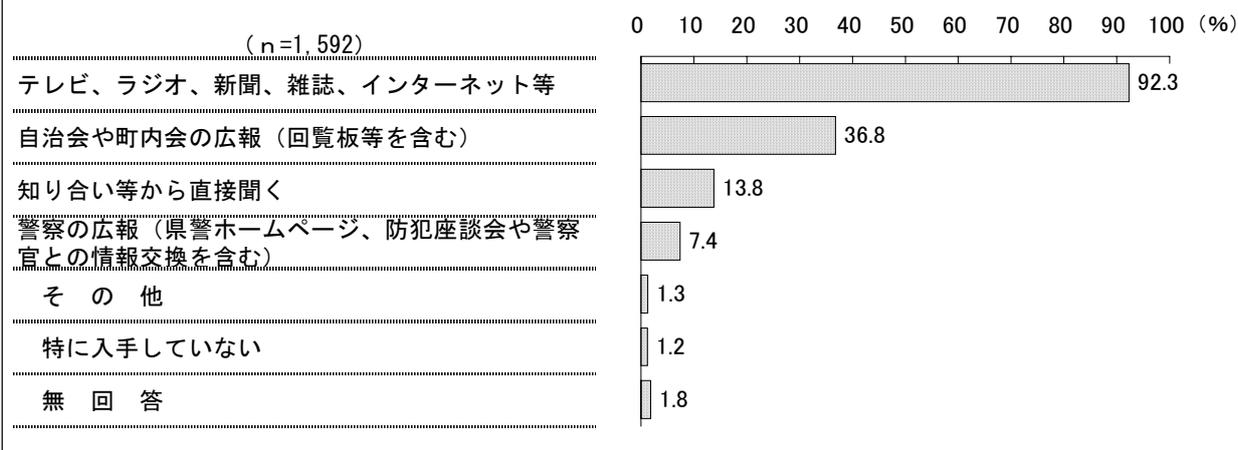
9 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて

(1) 犯罪や防犯に関する情報を得る方法

◇「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等」は9割を超える

問 34 あなたは、犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手していますか。(〇は2つまで)

<図表9-1>犯罪や防犯に関する情報を得る方法



犯罪や防犯に関する情報を主にどこから入手しているかを2つまで選んでもらったところ、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等」（92.3%）は9割を超えている。これに「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」（36.8%）、「知り合い等から直接聞く」（13.8%）、「警察の広報（県警ホームページ、防犯座談会や警察官との情報交換を含む）」（7.4%）が続く。

(図表9-1)

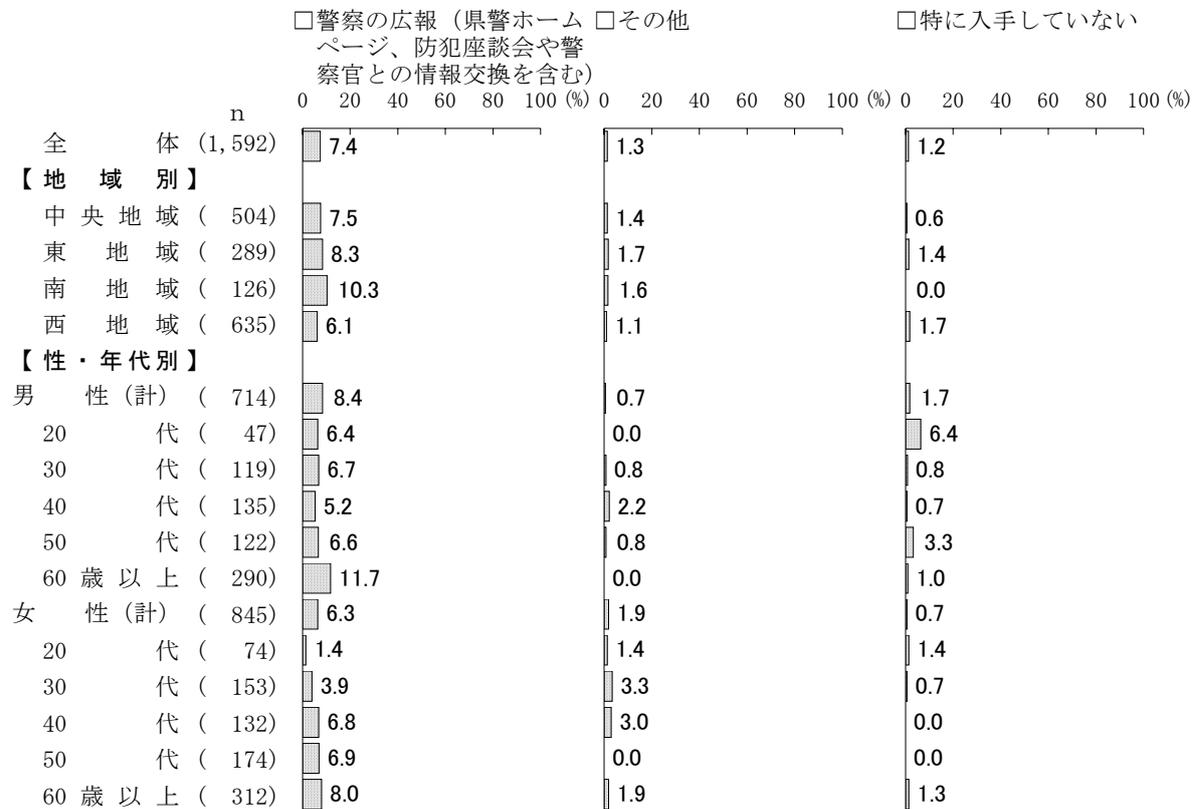
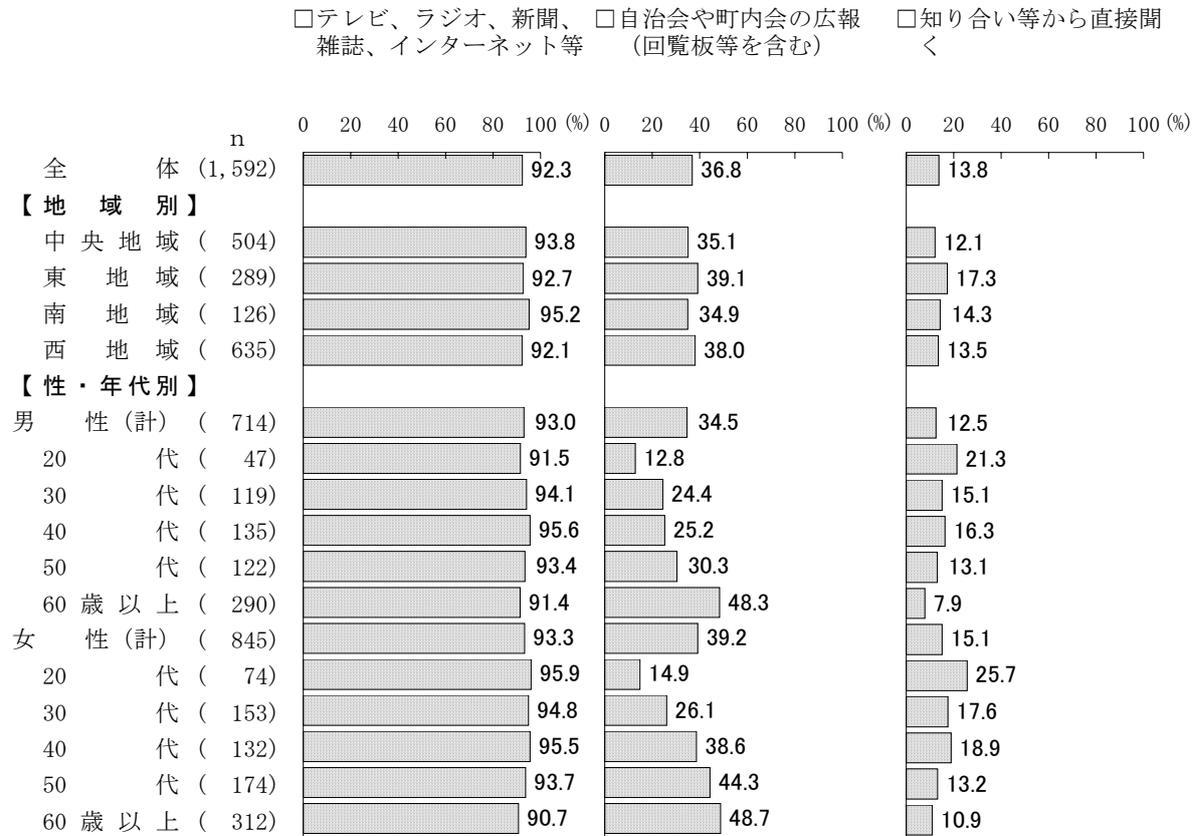
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表9-2)

【性・年代別】

性・年代別で見ると、「自治会や町内会の広報（回覧板等を含む）」は男女とも年代が高くなるほど割合が高くなっている。「知り合い等から直接聞く」は、男女とも20代（男性21.3%、女性25.7%）が2割以上となっている。(図表9-2)

<図表9-2> 犯罪や防犯に関する情報を得る方法／地域別、性・年代別

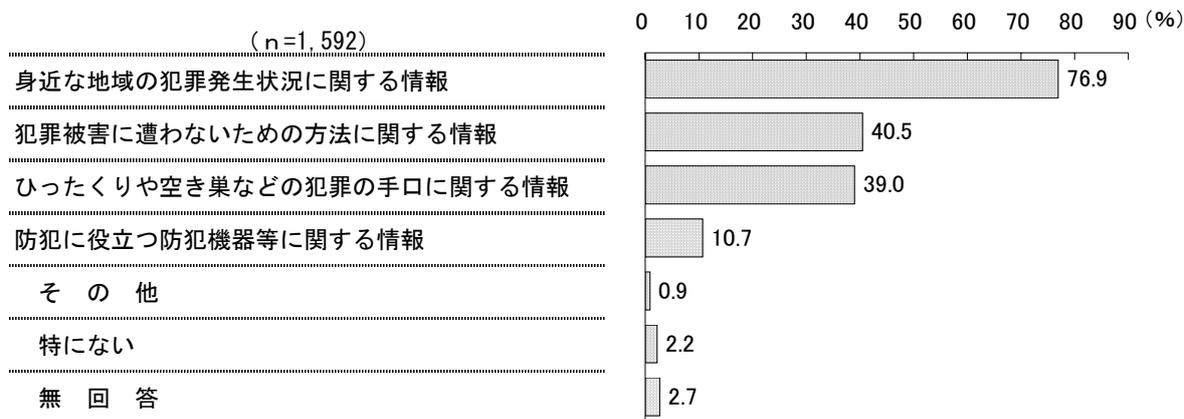


(2) 提供してほしい犯罪情報

◇「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」が7割台半ば

問 35 あなたが提供してほしい犯罪情報は何ですか。(○は2つまで)

<図表 9-3> 提供してほしい犯罪情報



提供してほしい犯罪情報は何かを2つまで選んでもらったところ、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」(76.9%)が7割台半ばで最も高くなっている。これに「犯罪被害に遭わないための方法に関する情報」(40.5%)、「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」(39.0%)、「防犯に役立つ防犯機器等に関する情報」(10.7%)が続く。(図表 9-3)

【地域別】

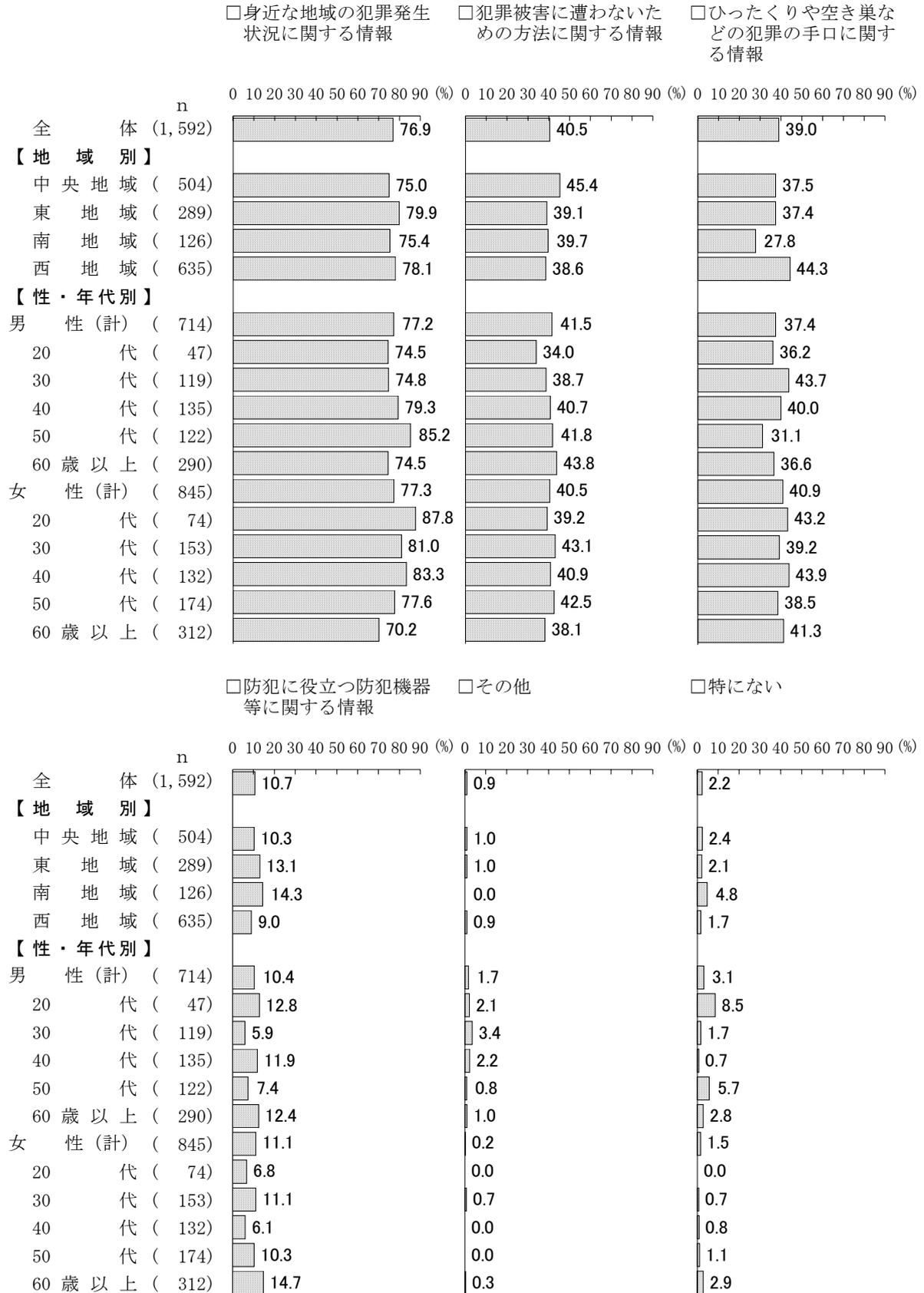
地域別でみると、「ひったくりや空き巣などの犯罪の手口に関する情報」は“西地域”(44.3%)で4割台半ばとやや高くなっているほかは、ほぼ同じ傾向になっている。(図表 9-4)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「身近な地域の犯罪発生状況に関する情報」は女性20代(87.8%)で約9割と高く、男性50代(85.2%)と女性40代(83.3%)でも8割台半ばとなっている。

(図表 9-4)

<図表9-4>提供してほしい犯罪情報／地域別、性・年代別



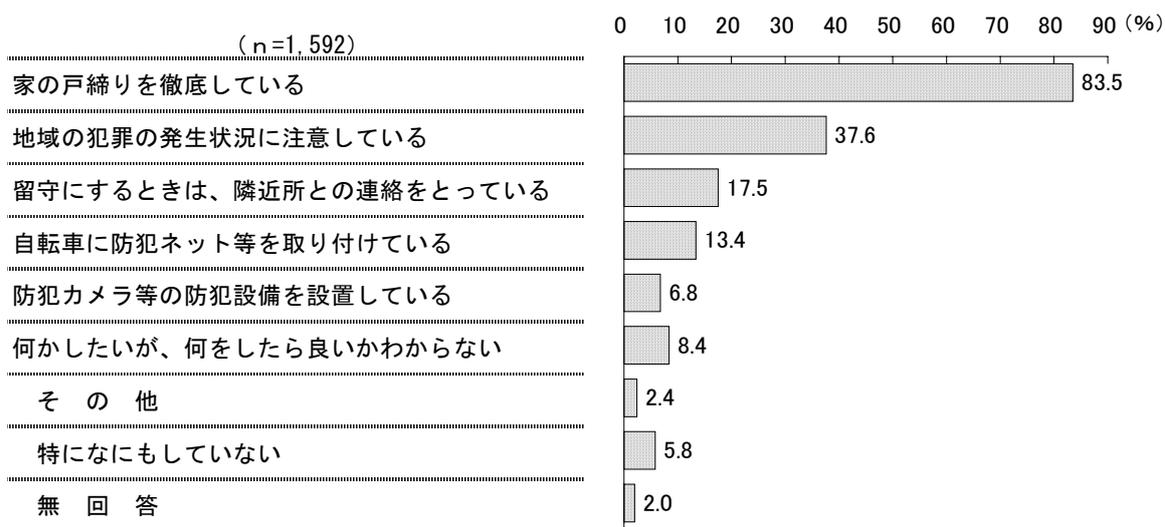
(3) 犯罪に遭わないために心がけていること

◇「家の戸締りを徹底している」が8割台半ば

問 36 あなたは、今、犯罪に遭わないためにどのようなことに心がけていますか。

(〇はいくつでも)

<図表 9-5> 犯罪に遭わないために心がけていること



犯罪に遭わないために心がけていることをいくつか選んでももらったところ、「家の戸締まりを徹底している」(83.5%)が8割台半ばで最も高くなっている。これに「地域の犯罪の発生状況に注意している」(37.6%)、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」(17.5%)、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」(13.4%)が続く。(図表 9-5)

【地域別】

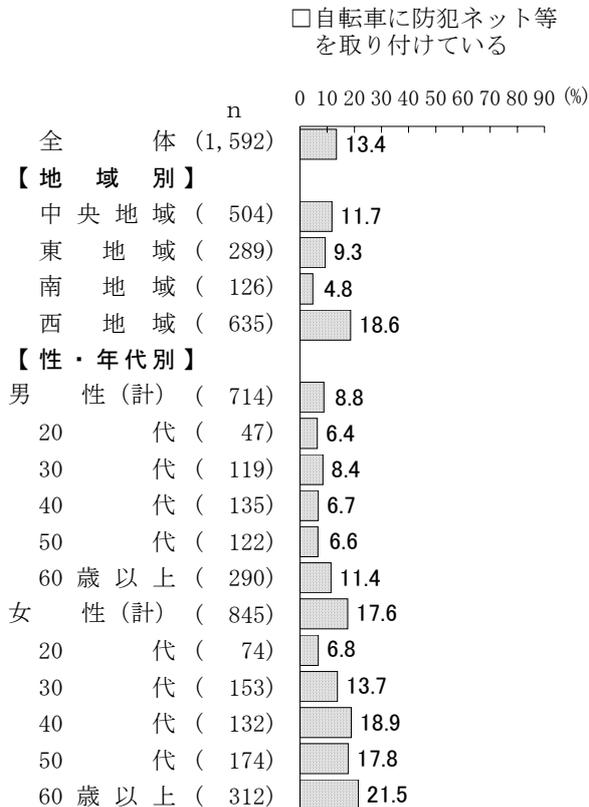
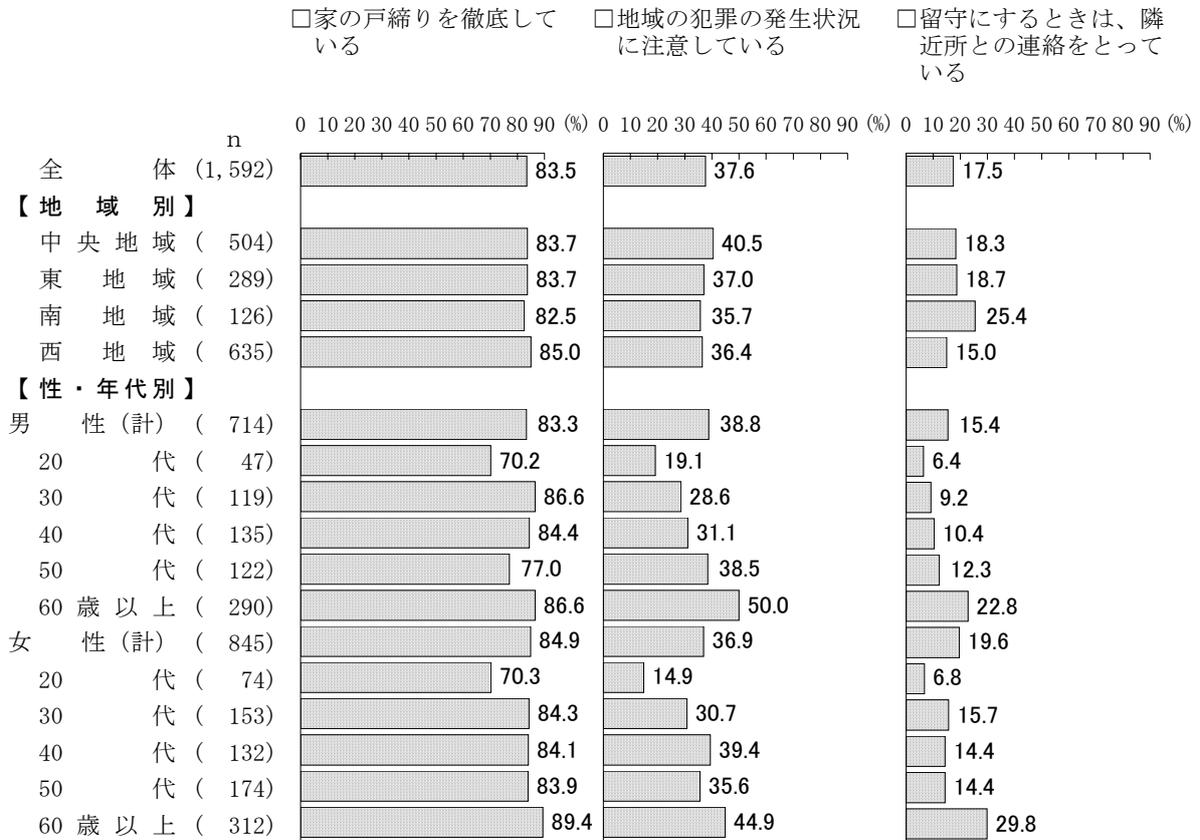
地域別でみると、「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」は“南地域”(25.4%)で2割台半ば、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」は“西地域”(18.6%)で約2割と高くなっている。(図表 9-6)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「地域の犯罪の発生状況に注意している」は男女とも60歳以上が最も高く、男性60歳以上(50.0%)で5割、女性60歳以上(44.9%)で4割台半ばとなっている。「留守にするときは、隣近所との連絡をとっている」は女性60歳以上(29.8%)で約3割と高く、「自転車に防犯ネット等を取り付けている」は女性の方が男性より約9ポイント高くなっている。

(図表 9-6)

<図表9-6> 犯罪に遭わないために心がけていること／地域別、性・年代別（上位4項目）

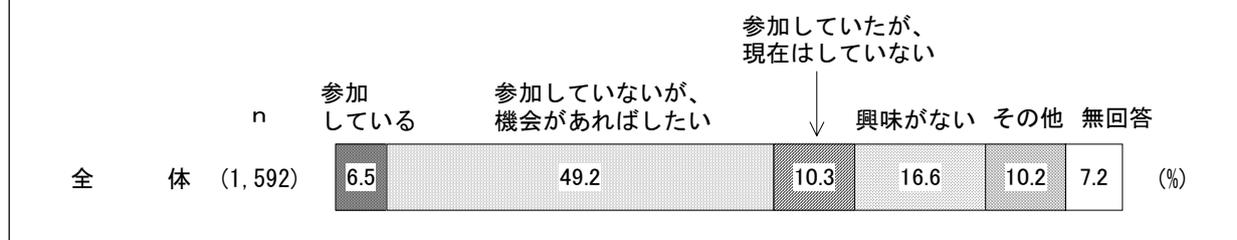


(4) 自主防犯活動等への参加状況

◇「参加していないが、機会があればしたい」が約5割

問 37 あなたは、自主防犯活動等に参加していますか。(○は1つ)

<図表9-7> 自主防犯活動等への参加状況



自主防犯活動等に参加しているか聞いたところ、「参加している」(6.5%)は1割に満たないが、「参加していないが、機会があればしたい」(49.2%)は約5割となっている、「参加していたが、現在はしていない」(10.3%)は1割、「興味がない」(16.6%)は1割台半ばとなっている。

(図表9-7)

【地域別】

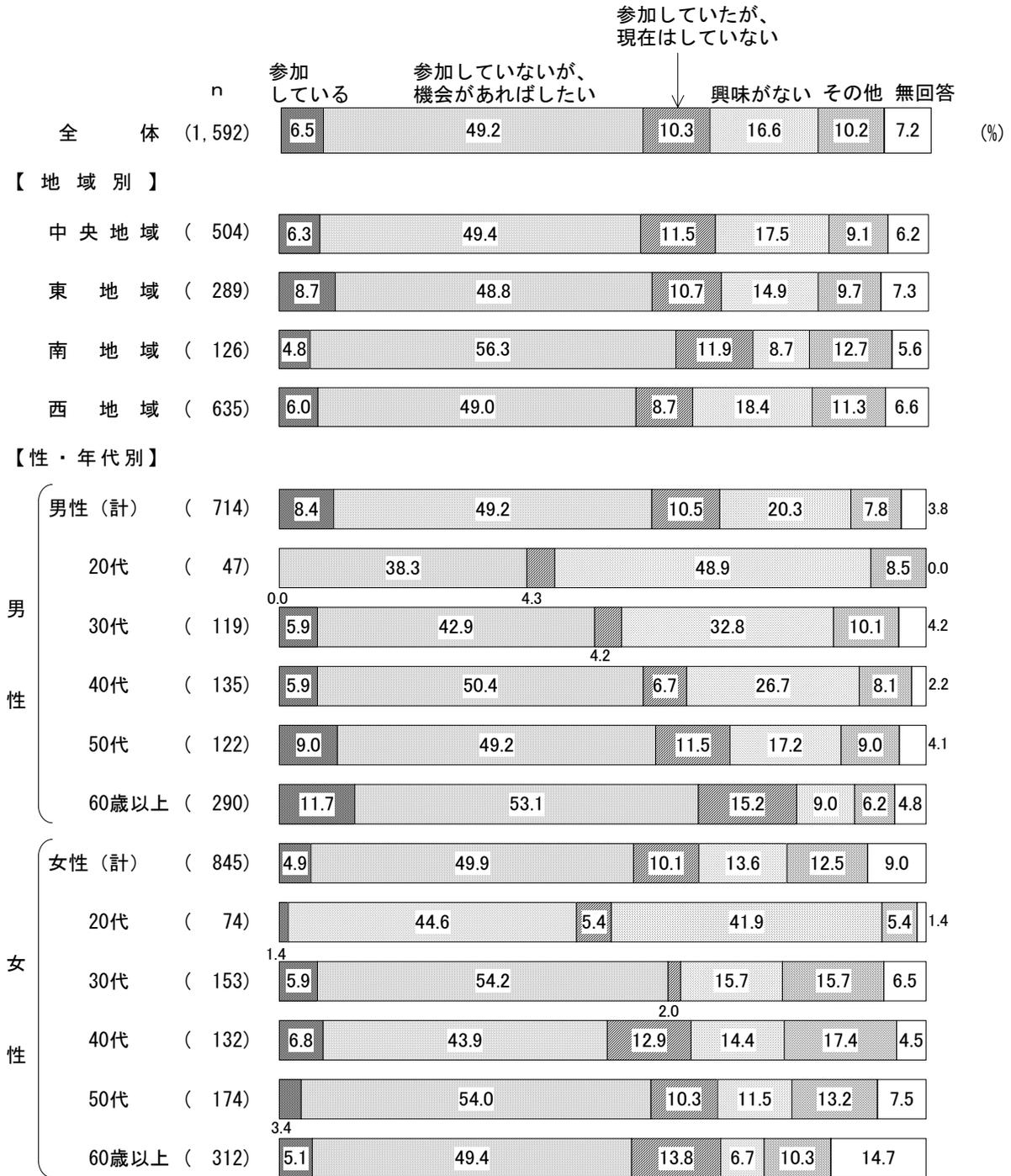
地域別でみると、「参加していないが、機会があればしたい」は“南地域”(56.3%)で5割台半ばと高くなっている。(図表9-8)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「参加している」は男性60歳以上(11.7%)で1割を超えている。「参加していないが、機会があればしたい」は女性の30代(54.2%)と50代(54.0%)、男性60歳以上(53.1%)で5割台半ばとなっている。「興味がない」は低い年代ほど割合が高くなっている。

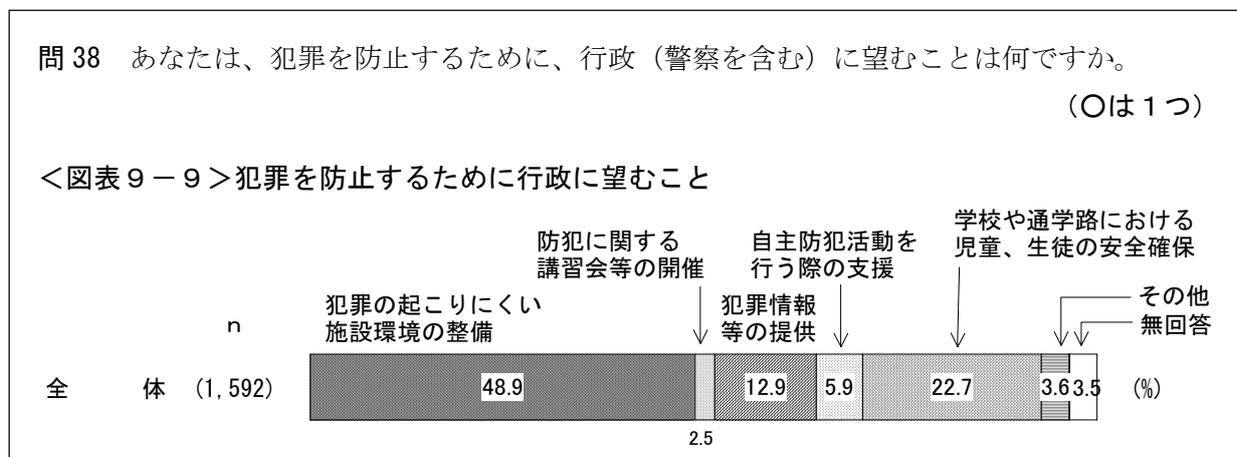
(図表9-8)

<図表9-8> 自主防犯活動等への参加状況／地域別、性・年代別



(5) 犯罪を防止するために行政に望むこと

◇「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」が約5割



犯罪を防止するために、警察を含む行政に望むことは何か聞いたところ、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」(48.9%)が約5割で最も高くなっている。「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」(22.7%)は2割を超え、「犯罪情報等の提供」(12.9%)は1割を超えている。「自主防犯活動を行う際の支援」(5.9%)、「防犯に関する講習会等の開催」(2.5%)はわずかである。(図表 9-9)

【地域別】

地域別でみると、「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は“南地域”(31.7%)で3割を超えて高くなっている。(図表 9-10)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「犯罪の起こりにくい施設環境の整備」は女性20代(58.1%)で約6割と高くなっている。「学校や通学路における児童、生徒の安全確保」は女性30代(35.9%)で3割台半ばと高く、男性30代(28.6%)と女性40代(28.8%)でも約3割となっている。

(図表 9-10)

<図表9-10> 犯罪を防止するために行政に望むこと／地域別、性・年代別

